

「上質感」ネットワークへ！

消費税アップ後、全国的に受注減が起きています。これから長く続くトンネルの入り口だと言われます。予想される、住宅市場の縮小化・長期低落化の中で、確かなもの、決め手になるのは何だろうか？ 我々は、自らを「上質感」ネットワークと見定めことによって、独自のつよさを持ちたいと考えました。



菅組 新モデルハウス

❖ オリンピックイヤーの裏側で進行している現実？

住宅業界のマーケットターである、新建ハウジングの三浦さんと、新年の挨拶を交わしていたら、「町工さんはいかがですか？」という問い掛けがありました。それは、全国的に消費税後の受注減が甚だしいという話でした。予想されたこととはいえ、私にはこれから長く続く序章と思われました。

❖ 何故、我々は新パンプの制作に乗り出したのか？

そんな中であって、「土間」を前に押し出しているグループの好調が伝えられています。ユーザーの感度は、そこに向かっていくようで、それは単に建築部位としての「土間」にあるのではなく、若いユーザーが住まいに何を求めているかを示しているのではないかと私は受け止めました。

11月下旬に、胸騒ぎがして火がついたように新パンプの制作に乗り出したのは、「そうかそれだったんだ」と合点が行きました。

❖ 『天気の子』の大ヒットに見られる感度のよさ。

今の若い人は、一見ふわふわしていますが、感覚的にいいものをつかまえる能力に長けています。可愛いとか、いい感じとかいいながら…。多々、コマーシャリズムに惑わされることはありますが、情報の洪水の中で「上質」なるものを嗅ぎ

取る感度を持った若い人、私はそれをインテリジェンスと呼んでいますが、そういう若い人が生まれて来ています。昨年、アニメ映画の『天気の子』が大ヒットしました。お天気と愛を結晶作用に高めたのが受けていて、それは気象危機に対する生存本能が働いていることです。日本の若い人は健全だと思いました。それは、住まいに対する感度に結びつく話だと私は見ました。

❖ 若いユーザーは、真の「上質感」を求めている！

いい感覚を持った若い人を惹きつけ、確かな「上質感」に繋げることが、これからの我々の仕事を決めるとの見通しを持つべきと考えて、私は新パンプを編みました。

町工ネットに構成されている工務店は、それぞれ自分たちが持っている「上質感」に自信を持っています。時代は、我々の出番を告げています。今求められるのは、真の「上質感」を裏打ちする哲学と、方法と、それを伝える術を身につけることです。

総会では、このあたりを存分に語り、論議したいと考えています。

当日、新パンプを配布するため、正月返上で取り組みました。その活用法についても、詳しく発表します。

(文・小池一三)



菅組 新モデルハウス 設計：堀部安嗣 施工：菅組 作庭：田瀬理夫 撮影：植野咲子

いざ讃岐へ。土佐へ、阿波へ。

讃岐メンバーの建物見学と、議論沸騰の総会へ。そしてオプションルツアーで土佐と阿波へ。さらに中規模木造展開のための、「地域材研究会」へ。万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

町の工務店ネット in 四国 2020年定期総会 & オプションルツアー & 地域材研究会

1/22(水) 12:00集合～23(木) 12:00終了……………[讃岐にて定期総会]

1/23(木) 午後～24(金) 午前………[土佐 or 阿波へのオプションルツアー]

1/24(金) 午後～25(土) 午前……………[中規模木造のための地域材研究会]

町工ネット工務店は、独立自営工務店の集まりです。しっかり自分の足で立ち、存在価値を主張します。

瀬戸大橋を渡って、野の国・讃岐へ

1/22(水) 12:00集合~23(木) 12:00終了
[讃岐にて定期総会]

2020年度・定期総会 基調報告

あわてず、平たく、100年先を見越して計画しようぜ。
新パンフを紹介します。[町の工務店ネット代表] 小池一三

見学する建物は讃岐の3社

[堀部安嗣氏設計による新モデルハウス] 菅組・金丸工務店・和住宅のお仕事



(株)菅組
代表
菅 徹夫



(株)金丸工務店
代表
藤田 薫



(有)和住宅
代表
壺谷泰三



設計・施工：金丸工務店



設計・施工：和住宅

工務店の自己紹介

[野の国、讃岐の工務店]

菅組・金丸工務店・和住宅

[伊予の工務店]

コラボハウス

—— 新たに加わった仲間達 ——

[土佐派の工務店] 勇工務店

[伊予の工務店] 新日本建設

訪問するたびに、四国・四つの国は、どうしてこんなに違うのか、
と思います。そんなに距離は離れていないのに、空気が異なります。
讃岐は、野の国なので平屋が似合います。山岳が出ばってくる、
伊予西条は水がおいしく、同じ平屋でも表情が異なります。
高知は、大きな台風がやってくるから、少し構えがぎつくなります。



設計・施工：コラボハウス



設計・施工：勇工務店



設計・施工：新日本建設

今回の定例総会から、総会開催地の工務店のお仕事(建物写真と仕事場風景)を、
お話いただく時間を設けます。
町工ネットは、各地の独立自営工務店で構成されているネットです。参加工務店は、
地域に根ざし、地域の人たちの住まいをつくり、家守りしています。生い立ちも、経営
規模も、つくる建物の顔も、内容も、一様ではありません。金太郎飴のフランチャイズ
ではなく、違いがあるから面白い、刺激的だ、学ぶことが多い、と考えます。

今、最もホットな実践報告

①非住宅・中規模木造プロジェクトの取り組み

大分・日本ハウジング・馬場鉄心／趙海光・半田雅俊・村田直子・久保潤一
(くわい発表は、24~25日開催の地域材研究会にて)



上図は、中規模木造プロジェクトによる、構造システムの試み。コストを考慮して4m材で構成され、自由に伸び伸びとした
木造架構の実現を目指して、実施案件による取り組みへと進められています。

②非住宅・地域プロジェクトの取り組み

浜松／入政建築・水崎建築・造居・番匠・スローハンド／設計：村松篤・坂田卓也

③里山のある町角づくり

富士山を望む河口湖畔で建設中のプロジェクト／富士吉田・滝口建築

④街なかハウスの展開

大阪伊丹の街角に建つ、ワンレベル上の4軒の建売住宅を発表します／尼崎・いなほ工務店

招待講演

南の国で、北の国・秋田の工務店に木の家について語っていただきます。

【秋田・(有)もるくす建築社代表】^{やすひろ} 佐藤欣裕



【プロフィール】一級建築士 (有)もるくす
建築社/佐藤欣裕建築設計事務所 代
表取締役。1984年生まれ。秋田県美
郷町出身。独学で建築を学び、スイス
やオーストリアのサステナブル建築か
ら大きく影響を受ける。第1回日本エコ
ハウス大賞2015大賞、第18回JIA環
境建築賞住宅部門最優秀賞、地域住
宅計画賞2013(自立循環部門)など
を受賞、環境建築分野を中心に活動。
共著に「地方で建築を仕事にする」
(2016 学芸出版)。



大曲の家

秋田・もるくす建築社は第1回「日本エコハウス大賞」を受賞した工務店として、
知られるようになりました。代表の佐藤欣裕さんは、地元の工業高校を出て、家
業を継がれました。当時31歳(現在35歳)。年の割に練達の仕事に、おおっ！
とみんな驚きました。

しかも、しっかりした論理に裏付けられていて、堀部さんは彼をして「終始して、科
学や技術が情緒に結びついていて、まるで数学者の岡潔(「数学は生命の燃焼
によって作られる」と語った、多変数解析函数論を解き明かした世界的数学者)
の本を読んでいるようだ」(『建築知識ビルダーズ』31号の対談記事より)と評さ
れました。この記事の中で佐藤さんは、「伝えるべきは、断熱性能ではなく、その
先の豊かさ」だと言っています。私(小池一三)はそれから4年間、佐藤さんと距
離を置きながら過してきましたが、宿谷昌則さん(東京都市大学名誉教授)が注
目されていることを知るにつけ、これは一度秋田に足を運んで仕事を見なければ
なるまいと意を決し、この10月に佐藤さんを訪ね、お仕事を拝見してきました。

見る・調べる・比べる・習う・
地域性と建築を考える。



「竹林寺本坊 納経所広場」設計：堀部安嗣（撮影：鈴木研一）

1/23(木)午後～24(金)午前 高知土佐 or 徳島阿波へのオプションツアー]

Aコース 土佐ツアー

五台山竹林寺、西奥の納骨堂への
細い道を歩きながら、
建築とは何かを考えよう。



[案内人]
堀部安嗣建築設計事務所
代表
堀部安嗣

堀部安嗣スクール開講！

竹林寺・高知県立牧野植物園にて、要望が高い「堀部スクール」を開催します。何故に、高断熱・高気密住宅に取り組んだのか、さらにその先にあるものについて率直に語っていただきます。テキストは『住まいの基本を考える』（堀部安嗣著・新潮社刊）を用います。事前に読んでご参加ください。

五台山竹林寺／約1300年の歴史を持つ、真言宗智山派の寺院。2013年の納骨堂(2016年日本建築学会賞(作品)受賞)に続き、2019年本坊・庫裡が、堀部安嗣氏の手により設計されました。



『住まいの基本を考える』（新潮社）



竹林寺納骨堂 夕景



竹林寺本坊・庫裏／撮影：鈴木研一



竹林寺納骨堂に向かう道



竹林寺本坊・庫裏 内観／撮影：鈴木研一

もう一つのハイライト。土佐派の工務店、勇工務店のお仕事を見学します。



障がい者支援施設 あじさい園別館 内観(設計：西森啓史)



こうちエコハウス 外観(設計：細木 茂)

Bコース 阿波ツアー

阿波神山の町営住宅は、
まるでひまわり畑のようだ。

ランドスケープデザインを田瀬さんが担当された、
阿波・神山町「^{おのじ}大埜地の集合住宅」。全12戸の
建物の屋根は一斉に南方に向かい、それはひま
わり畑のような建物群です。



[案内人]
㈱プランタゴ
代表
田瀬理夫



[特別対話]
㈲リビングワールド
代表
西村佳哲

【特別対話】田瀬理夫 × 西村佳哲 [神山町在住／働き方研究家]
著書「増補新版いま、地方で生きるといふこと」(ちくま文庫)ほか。
WEBびおにて「ぐるり雑考」連載中。



大埜地の集合住宅完成イメージ

六車工務店 + 六車誠二建築設計事務所

今の技術と自然素材の良さを生かして、設計・デザイン、施工の両面から、高水準の地域建築を提供している事務所です。今回我々は地元に行かないと見られない、三題の建物を六車誠二さんと自身と六車さんと関係の深い趙海光さんにご案内いただきます。

【建物三題】

下は、今回見学させていただく、近くの農家さんがつくった季節の野菜を中心に飲食、物販7つの店舗からなる小さなモール型マーケット「IDO(井戸)モール」建前時の構造写真です。1間グリッド(およそ2メートル角のマス目)に柱をたて、最大スパン3間(最も広い空間の短辺方向が、およそ6メートル!) 4寸角(柱も梁もすべて115ミリ角の細い杉材)だけで全フレームを構成。原理的には、どこまでも増築が可能でイスラム世界の旧市街のように中庭を囲みつつ一つの街の大きさにまで拡大可能な軸組システムです。

建物見学は、さらに「五名プロジェクト」、古民家を再生した「庭染居」と続きます。



六車工務店の仕事① IDOモール



六車工務店の仕事②五名プロジェクト



六車工務店の仕事④庭染居(古民家再生)

地域材研究会

ひとつとして同じ木がない　ひとつとして同じ星の光りのなかで
目ざめている木はない　木　ぼくはきみのことが大好きだ

田村隆一　第七詩集『水半球』より



テーマ①

非住宅・中規模木造の設計システムの詳細を発表します。

「秋のセミナー」で発表された内容は机上のものでしたが、今回は実施予定の大分の地域施設を対象にした計画案を発表します。中規模木造の魅力は、何と言っても架構の面白さにあり、自在な平面プランを可能にする方法を解きます。さらに、鉄骨造に対抗できるコストについても発表します。

中規模木造プロジェクト・システム計画案プロジェクトメンバー



趙海光
ぶらん・じゅういち代表



半田雅俊
半田雅俊設計事務所代表



村田直子
MOON設計代表



久保潤一
スタジオあさか代表



山辺豊彦
山辺構造設計事務所代表



小池一三
町の工務店ネット代表



佐塚昌則
町の工務店ネット常務

構造

事業展開

1/24(金)午後～25(土)午前 **[中規模木造のための地域材研究会]**

中規模木造に使える地域材の研究成果を発表します。

プロジェクトチームによる、ユニークな設計システムと共に、地域の山を蘇らせるため、基本となる木材質に踏み込みます。この乾燥レベルを各地の地域材産地で実現しよう。



勝野智明
(株)勝野木材
代表取締役社長
(長野県南木曾)



大石千壽
中部機械(株)代表
(徳島・Jパネルと
SDライ方式の
開発者)



藤原富子
(株)吾川森林・
佐川プレカッタ代表
(高知)

木曾1番の製材工場として知られる勝野さんに参加いただきます。勝野さんは、有力な材として信州からまつをあげます。ヤング係数150に達するものがあり、基本ヤング110で提供できると言われます。この材の難点とされる「ねじれ克服のポイントは乾燥にあり」と言われます。

大石さんは、乾燥を極めるとはどういうことか、一身を賭して示してきた人です。しかし、余人を寄せ付けない独創が仇となったのか、ご本人にとって悔しい現実が続きました。釜から出てくるJパネルの乾燥は5%です。中規模木造の明日を拓くには、この人の活躍が必須です。

大石さんの乾燥法を公然と掲げてやってこられたのは藤原さんだけでした。「隠れキリシタン」のように内緒で取り組まれた方は意外と多いのですが…。当日は、乾燥の生データをもとに、現場を担ってきたスタッフと共に、乾燥の実際と、その真髓を語っていただきます。

地域材をめぐる環境

非住宅・中規模木造プロジェクトが発足し、ようやく実施案件(大分の地域施設)の設計計画に取り組んでいます。

大きなテーマは、木材供給と木材質をどのように担保するかであり、目的とする地点は、その地域の材を用いて、それを実現することです。

しかしこれは、そう容易いことではありません。というのは、最近の日本の木造住宅は、無等級材が多用されるようになり、ヤング係数や含水率など、木材質を問わなくなったからです。地域ブランドを言いながら、実際には地域材への関心が希薄になりました。

阪神淡路大震災を経て、建築基準法が改正されました。耐力壁を用い、土台からの引き抜きに焦点整合すればクリアすれば通るということで、結果的に木材質を厳密に問わなくなりました。政府施策である、地域ブランド化事業は外材まで含まれるようになり、有名無実化されました。

非住宅・中規模木造の動き

森林環境税が浮上し、木材の「出口戦略」が問われる中で、非住宅・中規模木造に関心が向くようになりました。業界的には、新築住宅の減少が待ち受けており、2020年はオリンピック施設に木が多用され、またここ数年、CLTへの過度の傾斜もあって、建築マーケットの問題(非住宅・中規模木造は、工務店の技術でこなせる)として、俄然、注目が寄せられています。木材質について見るなら、住宅レベルではOKでも、中規模木造となるとそうは参りません。

木造の魅力は架構の面白さにあるとするなら、ヤング係数も、木材乾燥も問われざるを得ません。この取り組みが競争激化する中で差別化を図るには、架構の面白さとあいまって、木材質の高さに独自の境地を見出すべきで、それは剛性一辺倒のCLT対抗においても、さらには森林環境税が持つ、地域性重視の流れからも、正鵠を得た取り組みと言えないでしょうか。

接着重ね梁(BP材)と無垢材の関係性について

構造建築家の山辺豊彦さんは、中規模木造ではBP材(重ね・束ね材)が有効だと言います。「何故BP材なのですか?」とお聞きしたら、それはひとえに、大径材の乾燥は無垢材では難しいので、ということでした。含水率が高く、ヤング係数が低い材だと表面剥離が起こる可能性が高いそうです。しかし、ヤング係数の高い乾燥材なら、もともと無垢材でもやれるわけで、また、BP材の要諦は乾燥にあるのですから、何れにしても木材乾燥は避けて通れない問題といえます。



平角材の乾燥後の含水率 左から8.5%・9%・10.5% 材の芯部を水分計で測った含水率。



じっくりと材を枯らして用いた木造建築の現代的な方法

地域材研究会を開く予定の、高知の藤原富子さんの工場(佐川プレカッタ)なら、高知のヒノキや杉材、難しい信州からまつさえも無垢材でやれる技術に近づいています。過熱水蒸気方式によるこの工場は、王子製紙の依頼により、最も乾燥が困難とされた道産トドマツの試験乾燥に成功した工場として知られます。同工場は、乾燥では、お金を取れない状態が長く続いてきたことから、邸別乾燥に踏み切られました。大径材も角材も板材も同じ釜で乾燥されていて、邸別依頼に基づいた材の歩留まりは、ほぼ100%。良くて70%、油断すると50%と言われるので、これは驚くべき数値です。中規模木造プロジェクトは、この工場と交渉し、各地の山の材を、試験乾燥するのを業務の一つとしていただくことにしました。このプロジェクトの未来形は、それぞれの地域材を用いて「街に、木の建築」を実現するのが目的です。



建築後11年目の状態。びしりと納まっています。



乾燥後プレカッタされた状態。割れがなく見事に仕上がっています。



乾燥釜から出てきた状態。平角材、正角材、板材も一緒に乾燥されています。



撮影:佐川プレカッタ